

めぐみイエス・キリスト教会

2024年1月28日(日) 第四主日特別礼拝

午前10時より

週報「通算第693号」



2024年標題聖句

マタイの福音書第6章33節

《まず神の国と神の義を求めなさい。そうすれば、これらのものはすべて、それに加えて与えられます。》

第一礼拝(教会にて) 毎週日曜日 午前10時～11時

第二礼拝※中止

聖書の学びと祈り会 毎週水曜日 午後6時～(各家庭にて)

牧師 鈴木 竜 実
ますみ

※当教会は、モルモン教、エホバの証人(ものみの塔)、統一教会(原理福音)とは、一切関わりがありません。

◎礼拝プログラム

【前奏祈祷】

【賛美Ⅰ】 新聖歌343「罪に満てる世界」 p. 546

【交読文】 No.38 詩篇第121篇 p. 910

【賛美Ⅱ】 新聖歌486「雄々しくあれ」 p. 780

【使徒信条】

【主の祈り】

【先週説教】

【賛美Ⅲ】 オリジナル曲No.1「本当の自由」

【聖書朗読】 ヘブル人書10章36節～39節(新約p. 451)

【礼拝説教】 《約束(赤いスイートピー)》

【聖餐式】

【賛美Ⅳ】 新聖歌165「栄光イエスにあれ」 p. 235

【平和祈り】

【頌 栄】 新聖歌63 「父・御子・御霊の」 p. 85

【祝祷後奏】

※本日の聖書箇所 (ヘブル人への手紙10章36節～39節)

10:36 あなたがたが神のみ心を行なって、約束のものを手に入れるために必要なのは、忍耐です。

10:37 「もうしばらくすれば、来たるべき方が来られる。遅れることはない。

10:38 私の義人は信仰によって生きる。もし恐れ退くなら、私の心は彼を喜ばない。」

10:39 しかし私たちは、恐れ退いて滅びる者ではなく、信じていのちを保つ者です。

●ポイント1.「主イエス様の約束」とは？

※ヨハネの福音書14章18節「最後の晩餐において」(新約p.214下段)

14:18「私は、あなたがたを捨てて孤児にはしません。あなたがたの所に戻って来ます。」

●ポイント2.「神様のアブラハムへの保証」とは？

※ヘブル書6章13節～18節「ご自身に誓われて」 (新約p.305上段)

6:13 神は、アブラハムに約束する際、ご自分より大いなるものにかけて誓うことができなかつたので、ご自分にかけて誓い、

6:14 「確かに私は、あなたを大いに祝福し、あなたを大いに増やす」と言われました。

6:15 このようにして、アブラハムは忍耐の末に約束のものを得たのです。

6:16 確かに、人間は自分より大いなるものにかけて誓います。そして、誓いはすべての論争を終わらせる保証となります。

6:17 そこで神は、約束の相続者たちに、ご自分の計画が変わらないことをさらにはっきり示そうと思い、誓いをもって保証されました。

6:18 それは、前に置かれている希望を捕らえようとして逃れて来た私たちが、約束と誓いという変わらない二つのものによって、力強い励ましを受けるためです。その二つについて、神が偽ることはあり得ません。

●ポイント3.「信仰」とは？

※ヘブル書11章1節～2節・6節「昔の人たちは」 (新約p.451下段)

11:1 さて、信仰は、望んでいることを保証し、目に見えないものを確信させるものです。

11:2 昔の人たちは、この信仰によって称賛されました。

11:6 信仰がなければ、神に喜ばれることはできません。神に近づく者は、神がおられることと、神がご自分を求める者には報いてくださる方であることを、信じなければならぬのです。

◎先週の礼拝メッセージ(神の国民の権威と権利とは?)

《今年の標題聖句からの第三回目のメッセージとなります。今回は、「神の国民に与えられた権利と権威」について学びます。

私たちは、神の国、すなわち主イエス様が言われた「御国」の民とさせていただきました。そればかりではありません。私たちは、もっとそれ以上の関係、つまり神様の子どもとされたのです。よって、創造主なる神様を、「父なる神様」と呼ぶ権利が与えられています。使徒パウロは、ローマ人への手紙において、このように語っています。『神の御霊に導かれる人は皆、神の子どもです。この御霊によって、私たちは「アバ、父」と呼びます。御霊ご自身が、私たちの霊と共に、私たちが神の子どもであることを証して下さいます。』と。

そして、私たちは聖徒でもあるのです。使徒パウロはエペソ書で、『あなたがたの心の目がはっきり見えるようになって、神の召しにより与えられる望みがどのようなものか、聖徒たちが受け継ぐものがどれほど栄光に富んだものか、また私たち信じる者に働く神のすぐれた力が、どれほど偉大なものであるかを、知ることができますように。』と語っています。また、最後の晩餐の時に、主は十一弟子にむかって、『「あなたがたが私にとどまり、私の言葉があなたがたにとどまっているなら、何でも欲しいものを求めなさい。そうすれば、それはかなえられます。あなたがたが多くの実を結び、私の弟子となることによって、私の父は栄光をお受けになります。」』と、約束しておられます。

旧約聖書の預言者エリヤは、シドンのツアレファテにいる一人のやもめによって養われた事があります。彼女の持っていた油と小麦粉の粉は、三年半も決して尽きることはなく、エリヤとそのやもめの家族全員が、長い間それを食べたと言われています。このように、御国の民であり、神の子どもである私たちは、守られているのです。》

お知らせ

※次回は2月4日(日)となり、通常通り午前10時から行ないます。また、ルカの福音書からの学びの続きとなります。

